

消防団たずね歩き

地域密着消防団活動

●神戸で一番新しい消防団

垂水北分団は、垂水消防団第9番目の分団で、ニュータウン分団として平成27年4月1日に発足し、はや3年が過ぎました。

垂水北分団の管轄地域は、垂水区の西北部になります。この地域にあった舞子ゴルフ場跡地は再開発によって、舞多間東地区と舞多間西地区が開発され、多くの住宅が建ち、人口も増え、昨年、舞多間小学校も新しく開校しました。

この地域で活動する垂水北分団は、分団長以下11人、うち女性3人で活動しています。そのうち①救急インストラクター資格者が8人、②小型動力ポンプ指導資格者10人、③消火器指導資格者9人いることが垂水北分団の自慢です。

●活動紹介

舞多間地域で平成29年10月に開催された秋祭りには、交通整理や警備はもちろんのこと、防災紙芝居や防災クイズ、水消火器を使っての消火訓練を実施しました。さらに、同月の防災指令発令時には管轄地域の巡回警備に当たりました。また、消防団にとって重要な年末特別警戒も本多間地域福祉センターをお借りして、管轄地域を自家用車にスピーカーを付けての巡回、徒歩での巡回と、3年間実施し、無線機の取り扱いも訓練を重ねることで団員全員が上達し

ました。

●課題

現在はまだ器具庫や詰所がないので、垂水消防署で分団会議や消防署員の方の指導で規律訓練、資機材の取り扱い訓練を実施しています。4月に新設された舞多間防災福祉コミュニティと連携し課題解決に取り組んでいきたいと思ひます。

●災害に備えて

今後30年以内に70～80%の確率で発生するといわれている南海トラフ地震。そのような大きな災害が発生したときに、地域の皆さまと垂水北分団とが一致協力して災害対応活動に当たれるよう、さまざまな訓練に取り組んでいきたいと思ひます。



(垂水消防団垂水北分団
分団長 北野安伸)



地域に根付いた消防団を目ざしています!

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局
神戸市消防団

